

事業所向け 事業所自己評価表【北風と太陽】

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係できせつであるか		○		十分な広さが確保できない事業所においては、出来る限りスペースを広く確保し療育に必要な大型道具などは子どもに危険のないように頑丈な仕切りで間仕切りしたり工夫している。
	②	職員の配置数は適切であるか		○		マンツーマンで対応が必要な子がいるときや、管理者が療育に入れないときなど、送迎や療育の質に問題が生じないように、配慮して対応出来るよう、事業所で協力し合い日常の配置を考えながら療育を行っている。
	③	事業所の設備等について、子どもにわかりやすい配慮がなされているか。またバリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		バリアフリーに関しては充分ではないが、児童の目線に立って物を配置し、先の見通しがつように絵カードを使用したり、指示が理解しやすい工夫をしている。
	④	清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また子ども達の活動に合わせた空間になっているか	○			日常的に整理整頓をし、児童が安全に過ごせるよう配慮している。また、消毒など環境整備にも配慮している。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための計画⇒実行⇒評価⇒改善(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		話し合いの時間が確保出来ない場合もあるが、朝のミーティングの時間を有効活用したり、職員回覧ノートなどで回覧し、いつでも確認できるようにしている。
	⑥	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートの結果を職員間で共有して、課題を踏まえた業務改善に努めている。
	⑦	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページ上で公開している。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部評価は受けておらず、不十分ではあるが、地域支援マネージャーとの関わりなどを利用して業務改善につなげている。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			2か月に1回の社内の全体研修や、外部研修への参加もしている。
適切な 支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス 計画を作成しているか	○			保護者へのアセスメントを行ったうえで、関係機関との連携で得た情報や職員間で話し合った内容を反映し、一人一人に合った支援ができるよう作成している
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			決まった書式を使用しアセスメントが取れている。また、専門機関での発達検査の結果表を保護者と共有し、児童に合った支援をするために活用している。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか		○		ガイドラインを認識したうえで作成しているが、適切に選択されているかどうか、再確認のため、職員間で共有認識が必要と思われる。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			いつでも支援計画を確認できるよう療育記録に支援計画書を入れ、それをもとに療育支援できるよう取り組んでいる。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		日々の療育では、個人が担当制で立案しているが、内容を共有し、実施にあたっては全員がプログラムに支援・協力して進めている。
	⑮	活動プログラムが話し合いのもとで計画的に進められているか	○			朝の打ち合わせ時に担当者から内容を周知し、確認しながら進めている。
	⑯	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか(放課後)		○		長期休暇も特に変わりなく活動を行っているが、土曜日は療育時間が長いので課外活動などを積極的に取り入れている
	⑰	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ 放課後等デイサービス 計画を作成しているか	○			集団療育、個別療育のプログラムを設けている。言語希望の利用児に関しては、言語聴覚士と個別で言語療育も行っている。

	⑱	支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			プログラム担当で司会進行職員、全体をフォローする職員、支援が必要な子等、役割分担を決め、スムーズに動けるよう意識している。
	⑲	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		支援の反省や振り返りの時間を特別設けてはいないが、都度気になったことや、子どもの様子についてはこまめに共有している。
	⑳	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援検証・改善につなげているか	○			療育日誌を毎回記録している。また言語療育や作業療法士による療育を行った後は、別で記録を残している。
	㉑	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			個別支援計画の更新時期の前には計画の見直しは必ず行う。
	㉒	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援をおこなっているか(放課後)		○		その日の通所者の状況や事業所の環境・スタッフの状況などを考慮して支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	㉓	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が主に参加している。
	㉔	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			毎月、利用予定表の提出をお願いし、下校時間の変更や長期休みで送迎場所や時間が異なる場合は、保護者に直接確認を取るなどしている。学校の年間行事はHPなどで確認したりしている。
	㉕	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合、保護者のニーズがあった場合、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	医療的ケアが必要な児童に関して受け入れをしていない。
	㉖	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			就学前児童が多いため、必要な児童に対し、送迎時に園での様子を確認したり、情報を共有するなど、関係機関への連携を密にし、相互理解を深めている。
	㉗	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行時、保護者の要望があった場合それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	現状該当児童がいないが、必要に応じて対応していく。
	㉘	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	発達検査を行った場合は、検査結果の情報を共有させていただいている。外部研修に参加したりしている。
	㉙	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	現在はそのような機会はないが、機会があればしてみたい。
	㉚	(地域自立支援)協議会等の研修へ積極的に参加しているか			○	コロナの扱いが五類になったことを生かして出来るだけ参加を促していきたい。
	㉛	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡ノートを活用したり、送迎時に出来るだけ詳細にお伝えし、発達状況や課題の共通理解ができるよう心掛けている。
	㉜	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか			○	連絡ノートを活用し困り感や相談の記載があれば返答し要望があればその都度参観や懇談を行っている。
保護者への説明責任	㉝	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約の際に詳細に説明できている。
	㉞	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援の同意を得ているか	○			個別支援計画説明の際に合わせて同意を得ている。
	㉟	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			対面での面談や、電話対応など状況に応じて対応できている。助言した後の様子も聞き取るようにしている。
	㊱	父母の会の活動を支援したり、保護者会や茶話会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者同士の交流の場を希望する保護者は少ないためアプローチ出来ないが要望が多くなれば支援することを検討したい。
	㊲	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付窓口を設定している為、迅速な対応を心掛けている。すぐに解決できることはその場でお伝えし、内容によっては職員間で話し合いをしてからお伝えすることもある。

一 等	③⑧	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			連絡帳を活用したり、夏祭りやクリスマス会等、季節のイベントがある場合はお知らせのお便りを配布している。
	③⑨	個人情報に十分注意しているか	○			日々気を配っている。
	④⑩	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のために配慮をしているか	○			どのような声掛け、促しが良いのか、保護者とも情報共有しながらコミュニケーションを図っている。
	④⑪	事業所の行事(ワークショップ)に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	事業所内行事は通所児童と行ってるが、地域交流ができる行事がある場合は確認し、参加することもある。
非 常 時 等 の 対 応	④②	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	職員間で周知しているが、保護者に伝える機会が少なかつたため、今後改善していきたい。
	④③	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難訓練を年3回地域に合わせた場面を想定して行っている。
	④④	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を把握しているか	○			基本投薬を含めた医療行為を行わない事を契約時に保護者に対して理解を求めている。てんかん発作の可能性がある児童に関しては、保護者とも情報を共有し、薬の影響なども考慮して療育を工夫している。
	④⑤	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切に対応しているか	○			虐待防止委員会を設置、研修も毎年全職員に対して開催している。
	④⑥	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			重要事項説明書にも記載をしており、やむを得ない場合を除いては拘束しない旨を保護者へ説明している。
	④⑦	食物アレルギーのある子どもについて、保護者の要望に応じて医師の指示書に基づく対応がされているか	○			契約時に必ず確認し適切な対応をしている。
	④⑧	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットが起こった際には本人含め状況の把握に努め、報告書の作成を徹底している。